

D5

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-159025

(43)Date of publication of application : 13.06.2000

(51)Int.Cl. B60R 5/04

(21)Application number : 10-337268

(71)Applicant : KOJIMA PRESS CO LTD

(22)Date of filing : 27.11.1998

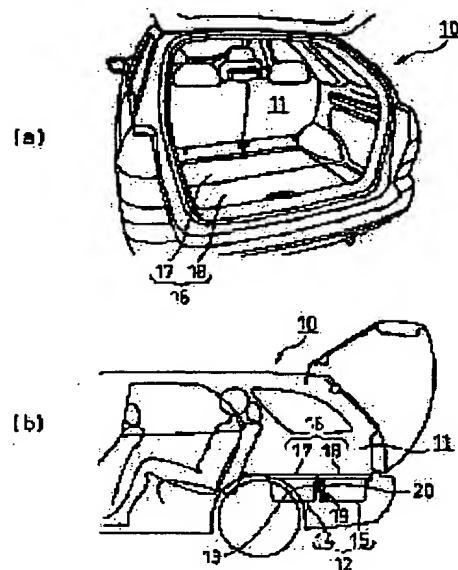
(72)Inventor : KATSUTA HIROSHI

## (54) LUGGAGE ROOM STRUCTURE OF AUTOMOBILE

## (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a luggage room structure of an automobile wherein the rear portion of luggage room is made serviceable effectively including the undertray of the rear luggage room portion.

**SOLUTION:** A luggage undertray 12 is provided in the lower part of a luggage room 11 to be installed in the rear part of an automobile, and a floor board 16 is installed on the undertray 12 and divided fore and aft into two portions, which are coupled together by hinge, and the front board portion 17 is coupled by hinge to the front edge of the undertray 12, and a means is provided to support the rear board portion 18 horizontally when the front and rear board portions 17 and 18 are opened.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 20.10.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3283006

[Date of registration] 01.03.2002

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-159025

(P2000-159025A)

(43)公開日 平成12年6月13日 (2000.6.13)

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>

B 60 R 5/04

識別記号

F I

B 60 R 5/04

テーマコード<sup>8</sup> (参考)

Z 3D022

審査請求 未請求 請求項の数 3 O.L (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平10-337268

(22)出願日 平成10年11月27日 (1998.11.27)

(71)出願人 000185617

小島プレス工業株式会社

愛知県豊田市下市場町3丁目30番地

(72)発明者 勝田 寛

愛知県豊田市下市場町3丁目30番地 小島

プレス工業株式会社内

(74)代理人 100077517

弁理士 石田 敬 (外4名)

Fターム(参考) 3D022 BA09 BA20 BB04 BC09

## (54)【発明の名称】 自動車のラゲージルーム構造

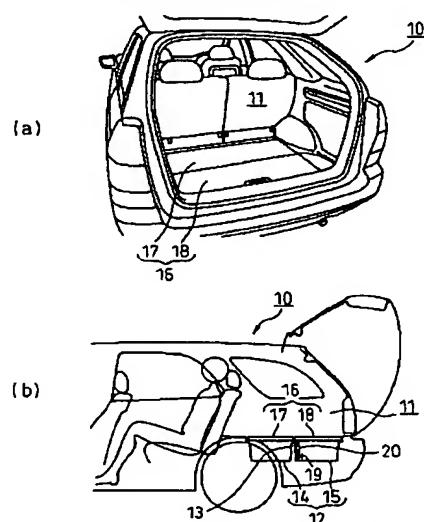
## (57)【要約】

【課題】 本発明は自動車のラゲージルーム構造に関し、自動車の後部ラゲージルームを、そのアンダートレイを含めて効率良く使用可能とした自動車のラゲージルーム構造を実現することを目的とする。

【解決手段】 自動車の後部に設けられるラゲージルームにおいて、該ラゲージルーム11の下部にラゲージアンダートレイ12を設けると共に、該ラゲージアンダートレイ12の上にフロアボード16を設け、該フロアボード16を前後に2分割し、その両者をヒンジにて結合し、さらに前部フロアボード17をラゲージアンダートレイ12の前縁部にヒンジ結合し、さらに前後部のフロアボード17, 18を開放したとき、後部フロアボード18を水平に支持する手段を設けて成るように構成する。

図 1

本発明の第1の実施の形態を示す図



10…車両	16…フロアボード
11…ラゲージルーム	17…前部フロアボード
12…ラゲージアンダートレイ	18…後部フロアボード
13…仕切り	19…支輪
14…前部ラゲージアンダートレイ	20…支柱
15…後部ラゲージアンダートレイ	

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】自動車の後部に設けられるラゲージルームにおいて、該ラゲージルーム(11)の下部にラゲージアンダートレイ(12)を設けると共に、該、ラゲージアンダートレイ(12)の上にフロアボード(16)を設け、該フロアボード(16)を前後に2分割し、その両者をヒンジにて結合し、さらに前部フロアーボード(17)をラゲージアンダートレイ(12)の前縁部にヒンジ結合し、さらに前後部のフロアボード(17, 18)を開放したとき、後部フロアボード(18)を水平に支持する手段を設けたことを特徴とする自動車のラゲージルーム構造。

【請求項2】前記後部フロアボード(18)を水平に支持する手段は、前記ラゲージアンダートレイ(12)の前後中間部の左右に支軸(19)にて回動可能に支持された支柱(20)を設け、フロアボード(16)を開放したときに後部フロアボード(18)を前記支柱(20)により支持可能としたことを特徴とする請求項1記載の自動車のラゲージルーム構造。

【請求項3】前記後部フロアボード(18)を水平に支持する手段は、ラゲージアンダートレイ(12)の前後中間部の左右の壁に垂直方向の溝(22)を設けると共に、該溝(22)により支持される着脱自在な仕切り板(23)を設け、フロアボード(16)を開放したときに後部フロアボード(18)を前記溝(22)に挿入された仕切り板(23)により支持可能としたことを特徴とする請求項1記載の自動車のラゲージルーム構造。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は自動車のラゲージルーム構造に関する。詳しくは、自動車の後部ラゲージルームを、そのアンダートレイを含めて効率良く使用可能とした自動車のラゲージルーム構造に関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来、ワゴン車とは乗用車とトラックとの中間的存在であり、乗用車より荷物の積載量を多くしている。そのため図5に示すように、後部座席1の後ろに荷物積載用のスペースであるラゲージルーム2が設けられている。またラゲージルーム2の下方に床下収納ボックス(以下ラゲージアンダートレイという)3が設けられているものもある。そしてラゲージアンダートレイ3の上面にはラゲージルーム2と仕切るフロアボード4が開閉自在に設けられていた。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記従来のワゴン車において、ラゲージアンダートレイのない車両は、アンダートレイを使用する便利性がない。また、ラゲージルーム内にラゲージアンダートレイを有する車両については次のような問題がある。その第1は、ラゲージルーム2

内に荷物が満載されている時、または、大きな荷物(ゴルフバッグ等)が積載されているときは、ラゲージアンダートレイ3に収納した小物を取り出すためには、ラゲージルーム2内の荷物をいったん取り出した後、仕切り板4を取り外して荷物を取り出さねばならず、荷物取り出しが厄介である。第2は、ラゲージアンダートレイに収容する物は、高さに制限があり、収容するものが小さいものに限られてしまう。

【0004】本発明は上記従来の問題点に鑑み、自動車の後部ラゲージルームを、そのアンダートレイを含めて効率良く使用可能とした自動車のラゲージルーム構造を実現することを目的とする。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】本発明の請求項1は、自動車の後部に設けられるラゲージルームにおいて、該ラゲージルーム11の下部にラゲージアンダートレイ12を設けると共に、該、ラゲージアンダートレイ12の上にフロアボード16を設け、該フロアーボード16を前後に2分割し、その両者をヒンジにて結合し、さらに前部フロアーボード17をラゲージアンダートレイ12の前縁部にヒンジ結合し、さらに前後部のフロアボード17, 18を開放したとき、後部フロアボード18を水平に支持する手段を設けたことを特徴とする。

【0006】また、請求項2は、前記後部フロアボード18を水平に支持する手段は、前記ラゲージアンダートレイ12の前後中間部の左右に支軸19にて回動可能に支持された支柱20を設け、フロアボード16を開放したときに後部フロアボード18を前記支柱20により支持可能としたことを特徴とする。

【0007】また、求項3は、前記後部フロアボード18を水平に支持する手段は、ラゲージアンダートレイ12の前後中間部の左右の壁に垂直方向の溝22を設けると共に、該溝22により支持される着脱自在な仕切り板23を設け、フロアボード16を開放したときに後部フロアボード18を前記溝22に挿入された仕切り板23により支持可能としたことを特徴とする。

【0008】この構成を探ることにより、自動車の後部ラゲージルームのアンダートレイを大きくして、大きい荷物を収容することができ、且つ収容した荷物を車外より見えないようにすることが可能となる。

## 【0009】

【発明の実施の形態】図1は本発明の第1の実施の形態を示す図であり、(a)は車両後方より見た斜視図、(b)は車両中心線における断面図である。本実施の形態は車両10のラゲージルーム11の下部にラゲージアンダートレイ12と該ラゲージアンダートレイ12を覆うフロアボード16とを設け、該ラゲージアンダートレイ12を仕切り13により前後に仕切り、前部ラゲージアンダートレイ14と後部ラゲージアンダートレイ15

とに分割し、且つ、前記フロアボード16を前部ラゲージアンダートレイ14を覆う前部フロアボード17と、後部ラゲージアンダートレイ15を覆う後部フロアボード18とに分割している。

【0010】また、前記前部フロアボード17と後部フロアボード18とをヒンジ結合すると共に、前部フロアボード17の前部をラゲージアンダートレイ12の前部上縁にヒンジ結合し、さらに、前記仕切り13の左右に支軸19により回動可能に支持された所定長さの支柱20を設けている。

【0011】このように構成された本第1の実施の形態を使用する場合を図2により説明する。先ず(a)図の如く、前後部のフロアボード17、18を持ち上げ前後部のラゲージアンダートレイ14、15を開放する。次いで(b)図の如く後部フロアボード18を水平にすると共に、左右の支柱20を立て起し、後部フロアボード18の端部を支持する。

【0012】このようにラゲージアンダートレイを開放した本第1の実施の形態は、前部ラゲージアンダートレイ14の容積が大きくなり、大きな荷物が収容可能となる。また収容した荷物は棚状に持ち上げられた後部フロアボード18により車外より見えないようになる。また、棚状に持ち上げられた後部フロアボード18は棚として使用することができる。さらに、後部ラゲージアンダートレイ15はラゲージルーム11と合わさり図3の如く大きな荷物21を収容することが可能となる。

【0013】図4は本発明の第2の実施の形態を示す図である。本実施の形態が前実施の形態と異なるところは後部フロアボードの支持手段が異なることである。本実施の形態の後部フロアボードの支持手段は、図4(a)に示すように、ラゲージアンダートレイ12の前後中間部の左右の壁に垂直な溝22を設けると共に、該溝22により支持される着脱自在な仕切り板23を設けたものである。

【0014】このように構成された本実施の形態は、図4(b)に示すように、前部フロアボード17及び後部フロアボード18を開放したときに図4(b)に示すように後部フロアボード18を溝22により支持した仕切り板23により支持することができる。これにより、前

部ラゲージアンダートレイ14の内容積を大きくすることができ、大きな荷物を収容することができ、且つ収容した荷物を車外より見えないようにすることができる。またラゲージルームへ大きく重い荷物を積み込んでも、その荷物を移動させずにラゲージアンダートレイを容易に使用することができる。

【0015】

【発明の効果】本発明の自動車のラゲージルーム構造に依れば、ラゲージルームのフロアボードを2分割してヒンジ結合し、それを持ち上げて棚状にすることにより、自動車の後部ラゲージルームのアンダートレイの容積を大きくして、大きい荷物を収容することができ、且つ収容した荷物を車外より見えないようにすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施の形態を示す図であり、(a)は車両後方より見た斜視図、(b)は車両中心線における断面図である。

【図2】本発明の第1の実施の形態の使用状態を示す図である。

【図3】本発明の第1の実施の形態の使用状態を示す図である。

【図4】本発明の第2の実施の形態を示す図である。

【図5】従来のラゲージルームを示す図である。

【符号の説明】

10…車両

11…ラゲージルーム

12…ラゲージアンダートレイ

13…仕切り

14…前部ラゲージアンダートレイ

15…後部ラゲージアンダートレイ

16…フロアボード

17…前部フロアボード

18…後部フロアボード

19…支軸

20…支柱

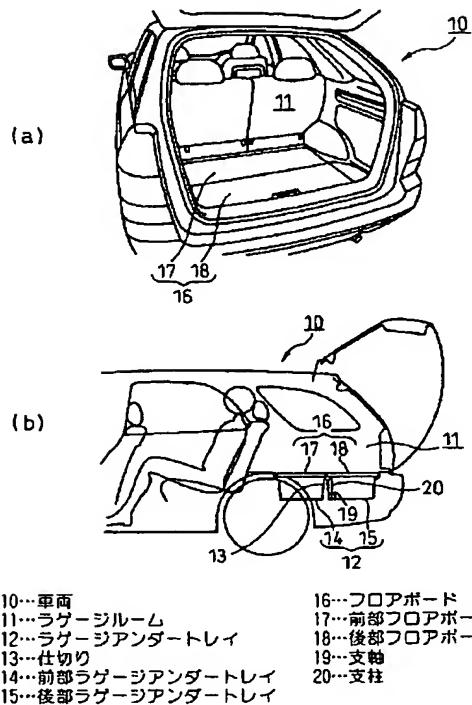
21…荷物

22…溝

23…仕切り板

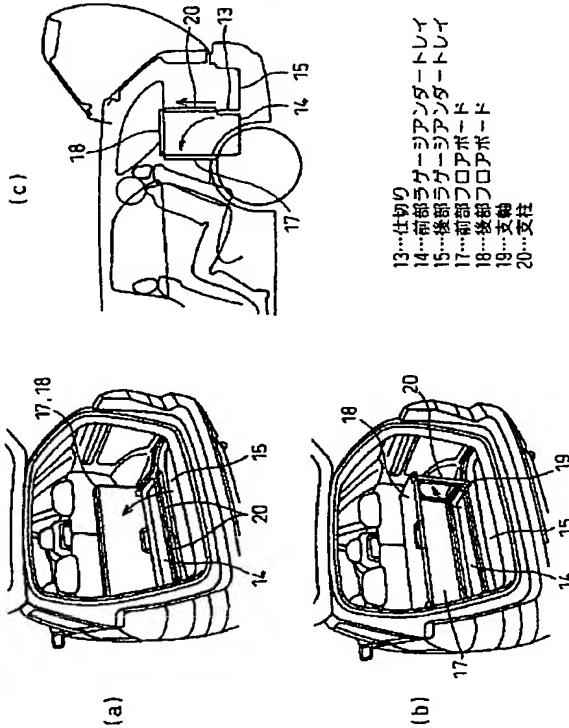
【図1】

図1 本発明の第1の実施の形態を示す図



【図2】

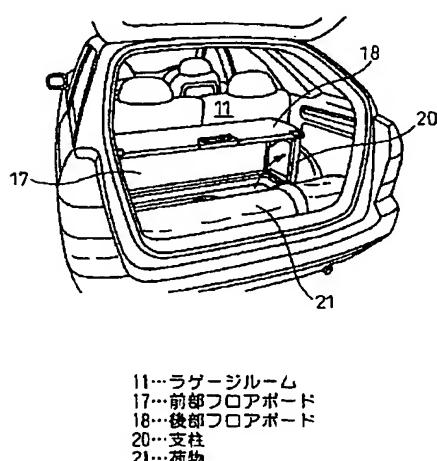
図2 本発明の第1の実施の形態の使用状態を示す図



【図3】

図3

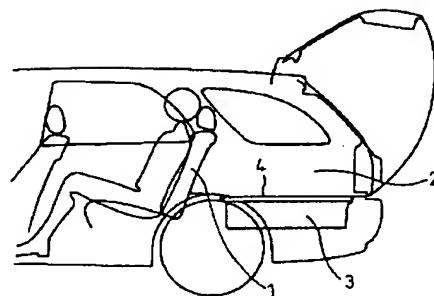
本発明の第1の実施の形態の使用状態を示す図



【図5】

図5

従来のラゲージルームを示す図



## 【図4】

図4 本発明の第2の実施の形態を示す図

